

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	相模原市立淵野辺小学校B-1棟	階数	地上3F
建設地	相模原市中央区淵野辺4丁目958-1外	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	750 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,232 時間/年(想定値)
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年3月 予定	評価の実施日	2024年3月22日
敷地面積	5,471 m ²	作成者	(株)タック都市開発研究所
建築面積	1,587 m ²	確認日	2024年3月22日
延床面積	3,743 m ²	確認者	(株)タック都市開発研究所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

環境品質 (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項	
総合	横浜線淵野辺駅から徒歩7分の第1種住居地域に小学校用途でRC造、3Fにて計画した。
その他	特になし。
Q1 室内環境	快適な室内環境となるよう、化学汚染物質の少ないF☆☆☆☆を積極的に採用し、換気量を十分に確保した。
Q2 サービス性能	開放的な空間となるよう教室の天井高は2.7m超確保した。
Q3 室外環境(敷地内)	
LR1 エネルギー	BPI: 0.73 BEI: 0.44, LED照明設備を採用。
LR2 資源・マテリアル	分別解体が容易となるよう躯体+LGS+仕上とし、再利用できるOA707-も採用した。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO ₂ 排出率: 78%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される